

ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議

去る2月24日、ロシアはウクライナへの侵略を開始し、民間人を含め多くの死傷者が出ている。

ロシアによる侵略は、国際秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であって、明らかに国連憲章に違反するものであり、非核平和都市宣言をしている本市として到底容認できるものではない。

よって、本市議会は、ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、軍の即時撤退と平和的解決を行うよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日

士 別 市 議 会